

瀬戸内国際芸術祭2022

Setouchi Triennale 2022

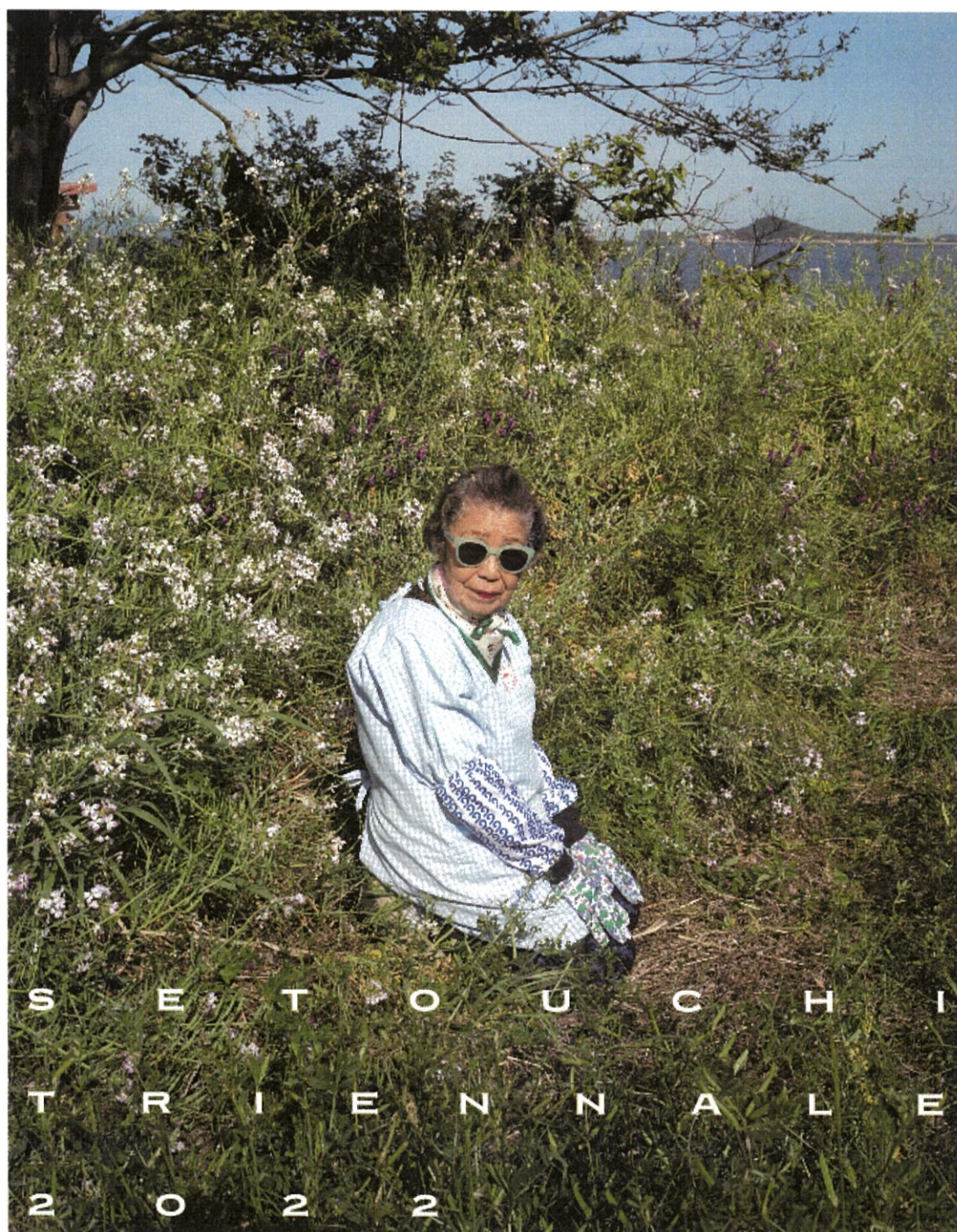
企画発表会

日時 | 令和3年11月9日[火] 13:00-14:00

場所 | 日本橋ホール

主催 | 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

【会期】春会期: 4月14日(木) - 5月18日(水) 夏会期: 8月5日(金) - 9月4日(日) 秋会期: 9月29日(木) - 11月6日(日)



瀬戸内国際芸術祭とは

「島のおじいさんおばあさんの笑顔を見たい。」—そのためには、人が訪れる“観光”が島の人々の“感幸”でなければならず、この芸術祭が島の将来の展望につながって欲しい。このことが、当初から掲げてきた目的＝『海の復権』です。

有史以来、日本列島のコブクロであった瀬戸内海。この海を舞台に瀬波津からの近畿中央文化ができたこと、源平、室町、戦国時代へとつながる資源の争奪の場であったこと、北前船の母港として列島全体を活性化したこと、朝鮮通信使による大切な大陸文化の継続した蓄積の通路であったことは、その豊かさを物語るものでした。しかしこの静かで豊かな交流の海は近代以降、政治的には隔離され、分断され、工業開発や海砂利採取等による海のやせ細りなど地球環境上の衰退をも余儀なくされました。そして世界のグローバル化・効率化・均質化の流れが島の固有性を少しずつなくしていく中で、島々の人口は減少し、高齢化が進み、地域の活力を低下させてきたのです。

私たちは、美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に活力を取り戻し、瀬戸内海が地球上のすべての地域の『希望の海』となることを目指し、瀬戸内国際芸術祭を開催しています。



これまでの瀬戸内国際芸術祭

瀬戸内国際芸術祭 2010

会 期 | 2010年7月19日-10月31日 計105日間

会 場 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港周辺

作 品 | 76作品、16イベント(18の国と地域から75組のアーティスト・プロジェクトが参加)

来場者 | 約93万人

瀬戸内国際芸術祭 2013

会 期 | 春：2013年3月20日-4月21日、夏：2013年7月20日-9月1日

秋：2013年10月5日-11月4日 総計108日間

会 場 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島、高松港周辺、宇野港周辺

作 品 | 207作品、40イベント(26の国と地域から200組のアーティスト・プロジェクトが参加)

来場者 | 約107万人

瀬戸内国際芸術祭 2016

会 期 | 春：2016年3月20日-4月17日、夏：2016年7月18日-9月4日

秋：2016年10月8日-11月6日 総計108日間

会 場 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島、高松港周辺、宇野港周辺

作 品 | 206作品、37イベント(34の国と地域から226組のアーティスト・プロジェクトが参加)

来場者 | 約104万人

瀬戸内国際芸術祭 2019

会 期 | 春：2019年4月26日-5月26日、夏：2019年7月19日-8月25日

秋：2019年9月28日-11月4日 総計107日間

会 場 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島、高松港周辺、宇野港周辺

作 品 | 214作品、35イベント(32の国と地域から230組のアーティスト・プロジェクトが参加)

来場者 | 約118万人

瀬戸内国際芸術祭 2022

主 催 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会 長： 浜田 恵造（香川県知事）
総合プロデューサー： 福武 総一郎（公益財団法人福武財団理事長）
総合ディレクター： 北川 フラム（アートディレクター）

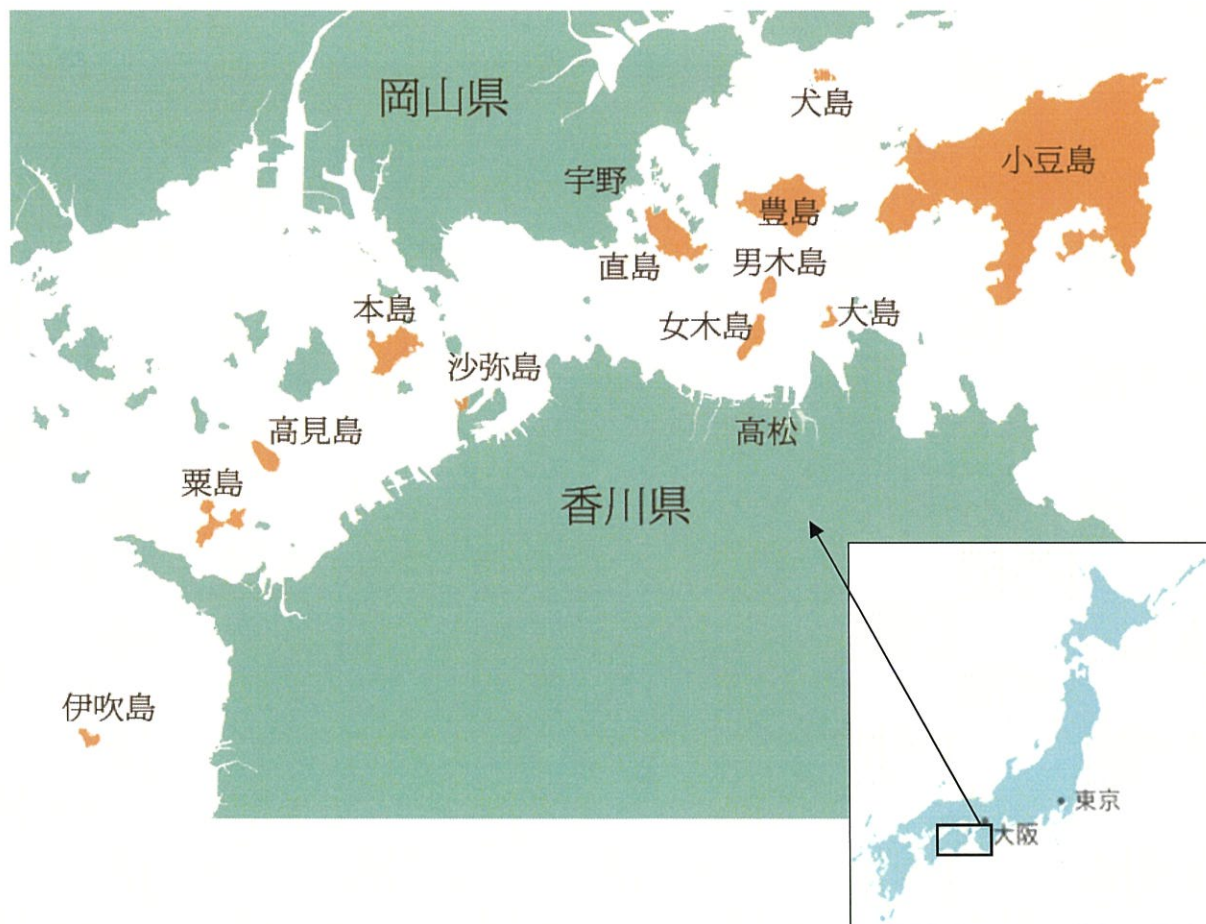
会 期

春：2022年4月14日-5月18日
夏：2022年8月5日-9月4日
秋：2022年9月29日-11月6日

総計 105 日間

会 場

直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、
沙弥島(春)、本島(秋)、高見島(秋)、粟島(秋)、
伊吹島(秋)、高松港周辺、宇野港周辺



作品計画と実施

個性ある島々の魅力を発見し、「あるものを活かして新しい価値を生み出す」サイトスペシフィックなアートプロジェクトを展開するとともに、アートと地域との関りを多角的に広げていくため、芝居や舞踏などのパフォーマンスを展開します。

なお、コロナ禍で移動の制限が続く中、特に海外の作家が視察・制作のために来日できない可能性があります。計画の変更やパフォーマンスの実施の可否の判断は、状況をみながら柔軟に対応していくものとします。

市町の地域計画に沿う新しい取組み

「瀬戸内国際芸術祭 2022 取組方針」の重点的な取組みの視点に掲げる「瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘・発信」等について、昨年度から、地域に精通した地元市町と勉強会等を重ねながら、本土側も含めた新たなエリアにおける作品展開やイベントの開催を通じた来場者の周遊の促進などについて検討を進めてきました。

そうした検討の成果も踏まえ、市町の地域計画に沿う新しい取組みを展開します。

- ・土庄町：迷路のまちの周遊性を高めます。
- ・小豆島町：福田地区一寒霞溪ルートを強化します。
- ・坂出市：王越地区並びに与島地区5島への展開を図ります。
- ・丸亀市：日本遺産登録に伴う「石」の活用と本土側（丸亀城等）への誘客を図ります。
- ・多度津町：島のみならず、町の繁栄を今に伝える街並みを活用し、本土側へも誘客を図ります。
- ・高松市：屋島への誘客を図ります。

作品計画

| 会場名 | 作品計画骨子 |
|-----|--|
| 直島 | 新規開館及び展示替えをするベネッセアートサイト直島の施設をベースに展開する。 |
| 豊島 | 針工場などの既存施設の拡充といったベネッセアートサイト直島の計画をベースとすると同時に、甲生地区では新規展開を行う。 |
| 女木島 | 「島の中の小さなお店」を継続展開し、単なる作品群ではなく地域に根差した総合的なプロジェクトとして持続性を目指す。 |
| 男木島 | 細い迷路のような路地で形成される町並みを活かし展開を行う。移住者を交えた島民が理想的なコミュニティをつくっていくことに伴走する。 |
| 小豆島 | 各港を中心とし、町の計画に沿うような作品展開を進める。特に、土庄港近くの迷路のまちや、福田地区から寒霞溪へのルートを強化する。 |
| 大島 | 住民、大島青松園、高松市、香川県、NPO 法人瀬戸内こえびネットワーク、作家が連携し、将来の島のあり方を見据えた活動を行う。 |
| 犬島 | 犬島固有の歴史・文化・資源・人をより体感できる取組みを具現化する。 |
| 沙弥島 | 与島地区5島の連携を図る作品展開及び誘客を図る。王越地区の美しい景観をテーマに住民との協働による造園活動の取組みを始める。 |
| 本島 | 塩飽水軍の本拠地として栄えた独特の歴史や、笠島まち並み保存地区の特徴を生かし、島の歴史文化に基づく石を中心テーマに展開を行う。 |
| 高見島 | 京都精華大学関係者のプロジェクトを中心に作品展開を行い、島民を元気にするとともに、本土側の街並みを活かした展開を行う。 |
| 粟島 | 島のシンボルである粟島海洋記念館の文化と歴史を現代に伝え、海洋をテーマとする作品を展開していく。 |
| 伊吹島 | 島に残る歴史的で特徴のある生活文化と作品とが結びつくような展開を進める。本土側では「よるしるべ」を活用した集客を目指す。 |
| 高松港 | 屋島山上に新設予定の交流拠点施設や四国村のリニューアル展開など、高松港から屋島、さらに四国全体に視野を広げる流れをつくる。 |
| 宇野港 | 本州側の玄関口である宇野港においては、島を行き来する人たちが滞留時間を楽しめるような仕組みを整える。食プロジェクトの展開も図る。 |

瀬戸内国際芸術祭2022
新規作品出展作家・プロジェクト
(2021年10月25日現在)

※ 本リストに掲載している場合でも、今後のやむを得ない事情により出展を見送ることがございます。
※ 2022年から中長期的な計画を開始する作家も掲載しています。

| 初参加 | 作家・プロジェクト名 | 国または地域／活動国 | 備考 |
|-----|--------------------------------------|-------------|------|
| ● | アジアアート(プロジェクト名) | | |
| ● | アジアギャラリー「時代の風景 時代の肖像」展 | | |
| ● | 風土ラボラトリー(プロジェクト名) | | その他 |
| | 瀬戸内「」資料館 下道基行 | 日本 | |
| | 針工場 大竹伸朗 | 日本 | |
| ● | ヴァレーギャラリー 安藤忠雄 草間彌生 小沢剛 | 日本 | |
| ● | 杉本博司ギャラリー 時の回廊 杉本博司 | | |
| | 青木野枝 | 日本 | |
| ● | Massimo Bartolini マッシモ・バルトリーニ | イタリア | |
| ● | Sokari Douglas Camp ソカリ・ドグラス・キャンプ | ナイジェリア／イギリス | |
| ● | 雲門舞集 CLOUD GATE | 台湾 | イベント |
| ● | 土井健史 | 日本 | |
| ● | DDMY STUDIO ディディエムワイ・スタジオ | タイ | |
| ● | Wim Delvoye ウィム・デルボア | ベルギー | |
| ● | Manal AlDowayan マナル・アル・ドワイヤン | サウジアラビア | |
| ● | Nicolas Darrot ニコラ・ダロ | フランス | |
| ● | Ayşe Erkmen アイシャ・エルクメン | トルコ／ドイツ | |
| ● | Stasys Eidrigevičius スタシス・エイドリゲヴィチウス | リトアニア／ポーランド | |
| | 藤野裕美子 | 日本 | |
| ● | 藤原史江 | 日本 | |
| ● | Kendell Geers ケンデル・ギール | 南アフリカ／ベルギー | |
| ● | Gegerboyo ゲゲルボヨ | インドネシア | |
| ● | GREEN SPACE | 日本 | その他 |

| 初参加 | 作家・プロジェクト名 | 国または地域／活動国 | 備考 |
|-----|--|--------------------|------|
| ● | 林恵理 | 日本 | |
| | 日比野克彦 | 日本 | |
| | ひびのこづえ | 日本 | イベント |
| ● | 保科豊巳 | 日本 | |
| | 伊東敏光＋広島市立大学芸術学部有志 | 日本 | |
| | Goya Julio ゴヤ・フリオ | アルゼンチン／日本 | |
| | Mella Jaarsma+Ninditiyo Adipurnomo メラ・ヤルスマ＋ニンディティヨ・アディプルノモ | オランダ／インドネシア、インドネシア | |
| ● | 片岡純也＋岩竹理恵 | 日本 | |
| ● | 川島大幸 | 日本 | |
| | 川島猛とドリームフレンズ | 日本 | |
| ● | 木ノ下歌舞伎 | 日本 | イベント |
| | 栗真由美 | 日本 | |
| | 鴻池朋子 | 日本 | |
| | コシノジュンコ | 日本 | |
| | 子どもサマーキャンプ(プロジェクト名) | | その他 |
| ● | KASA/KOVALEVA AND SATO ARCHITECTS | ロシア、日本 | |
| | 眞壁陸二 | 日本 | |
| | ままごと | 日本 | イベント |
| ● | 三宅之功 | 日本 | |
| | 村山悟郎 | 日本 | |
| | 村田のぞみ | 日本 | |
| | 女木島名画座上映会(プロジェクト名) | | イベント |
| ● | Aleksandra Mir アレクサンドラ・ミール | ポーランド | |
| | 直島女文楽 | 日本 | イベント |

| 初参加 | 作家・プロジェクト名 | 国または地域／活動国 | 備考 |
|-----|---|-------------|------|
| | 南条嘉毅 | 日本 | |
| ● | 西山美なコ | 日本 | |
| | Neon Dance ネオン・ダンス | イギリス | イベント |
| | 尾身大輔 | 日本 | |
| ● | Asaki Oda おだあさき | 日本／アメリカ | |
| | Oscar Oiwa 大岩オスカー | ブラジル／アメリカ | |
| ● | Sopheap Pich ソピアップ・ピッチ | カンボジア | |
| | 島のお誕生会(プロジェクト名) | | イベント |
| | 市民煎茶グループ 曙 | 日本 | イベント |
| ● | 鈴木健太郎 | 日本 | |
| | 切腹ピストルズ | 日本 | イベント |
| | 瀬戸内少女歌劇団 | 日本 | イベント |
| | Esther Stocker エステル・ストックカー | イタリア／オーストリア | グッズ |
| ● | Heather B Swann + Nonda Katsalidis ヘザー B スワン +ノンダ・カサリディス | オーストラリア | |
| | 竹腰耕平 | 日本 | |
| ● | 鉄羅佑 | 日本 | |
| | 豊福亮 | 日本 | |
| | 内田晴之 | 日本 | |
| | 若井健司 | 日本 | イベント |
| | 王文志 Wang Wen Chih ワン・ウェンチー | 台湾 | |
| | Charles Worthen チャールズ・ウォーゼン | アメリカ | |
| | 向阳 Xiang Yang シャン・ヤン | 中国 | |
| | よるしるべ(プロジェクト名) | | イベント |
| ● | 山下茜里 | 日本 | |

作品鑑賞パスポート

すべての会期で有効な「3シーズンパスポート」と、春・夏・秋それぞれの会期のみ有効な「会期限定パスポート」を「瀬戸内国際芸術祭 2022 デジタルパスポートアプリ」(通称：瀬戸芸デジパス)にて販売します。また、これまでと同じ紙のパスポートも販売します。なお、15歳以下は鑑賞無料です。

3シーズンパスポート 5,000円 (前売り特別価格 4,000円)

瀬戸内国際芸術祭 2022 の会期中、芸術祭の参加作品(施設)を各1回鑑賞できます(地中美術館、豊島美術館、その他一部の作品・イベントは別途料金が必要です)。

前売り期間：2021年11月9日(火)～2022年4月13日(水)

※ 16歳から18歳の方には3,100円で販売します。

会期限定パスポート (春用・夏用・秋用) 各 4,200円

春用は春会期中、夏用は夏会期中、秋用は秋会期中、芸術祭の参加作品(施設)を各1回鑑賞できます(地中美術館、豊島美術館、その他一部の作品・イベントは別途料金が必要です)。

※ 販売開始時期は、別途お知らせします。(瀬戸芸デジパス・紙のパスポート)

※ 16歳から18歳の方には2,600円で販売します。

※ 前売り特別価格の設定はありません。

購入方法・販売開始時期

11月9日から、瀬戸芸デジパス限定で、3シーズンパスポート(前売り特別価格4,000円)を販売します。

瀬戸芸デジパスは、瀬戸内国際芸術祭公式ウェブサイトの作品鑑賞パスポートのページ等を経由してAppStore又はGooglePlayからダウンロードしていただけます。

瀬戸芸デジパスでの会期限定パスポートや紙のパスポート(3シーズンパスポート・会期限定パスポート)の購入方法・販売開始時期は、別途お知らせします。

お得な作品鑑賞パスポート利用特典

作品鑑賞パスポートの提示により、下記の特典を受けられます。

- ・芸術祭の有料イベントを割引価格でご覧いただけます。
 - ・公式ショップにて割引価格で商品を購入いただけます。(回数制限があります)
 - ・お車をご利用の方は、専用駐車場(高松港に約100台、土日祝のみ高松市番町の旧中央病院跡地に約130台)を無料でご利用いただけます。(回数制限があります)
- ※ 高松港の駐車場には、障害のある方や介護の必要な高齢者など移動に配慮が必要な方のための優先区画(10～20台)を確保します。
- ・香川県・岡山県内の文化施設、観光施設などでの割引が受けられます。
- (割引が受けられる施設は、芸術祭公式サイトに順次掲載予定)

アクセス

瀬戸内国際芸術祭の会場の多くは離島です。船を乗り継ぎ、島を巡りながら、アート作品とともに、瀬戸内の多島美や島の文化、暮らしに触れることが瀬戸内国際芸術祭の醍醐味です。会期中は、来場者に快適にその魅力を味わっていただけるよう、航路事業者等の協力のもと、海上交通の利便性向上を図ります。

瀬戸内国際芸術祭 2022 フェリー 6 航路限定 3 日間乗り放題乗船券

フェリーでゆったりと快適な船旅を楽しみたい方のために、東の7島のうち5島を結ぶフェリーが3日間乗り放題となる乗船券の導入を予定しています。

- ・対象航路 | 高松港、宇野港と島々（直島・豊島・女木島・男木島・小豆島）を結ぶフェリー 6 航路
 - ・有効期間 | 利用開始日から3日間（有効期間内は何度でも乗船できます）
- ※販売時期等については、別途お知らせします。

芸術祭会期中の航路

瀬戸内国際芸術祭 2022 の会期中、航路事業者等の協力のもと、既存航路の増便や、通常は直接渡ることができない島同士を結ぶ航路（臨時航路）の運航により、来場者の利便性向上を図ります（海上運送法所定の手続き完了後に確定します）。

<会場までの主な航路と所要時間>

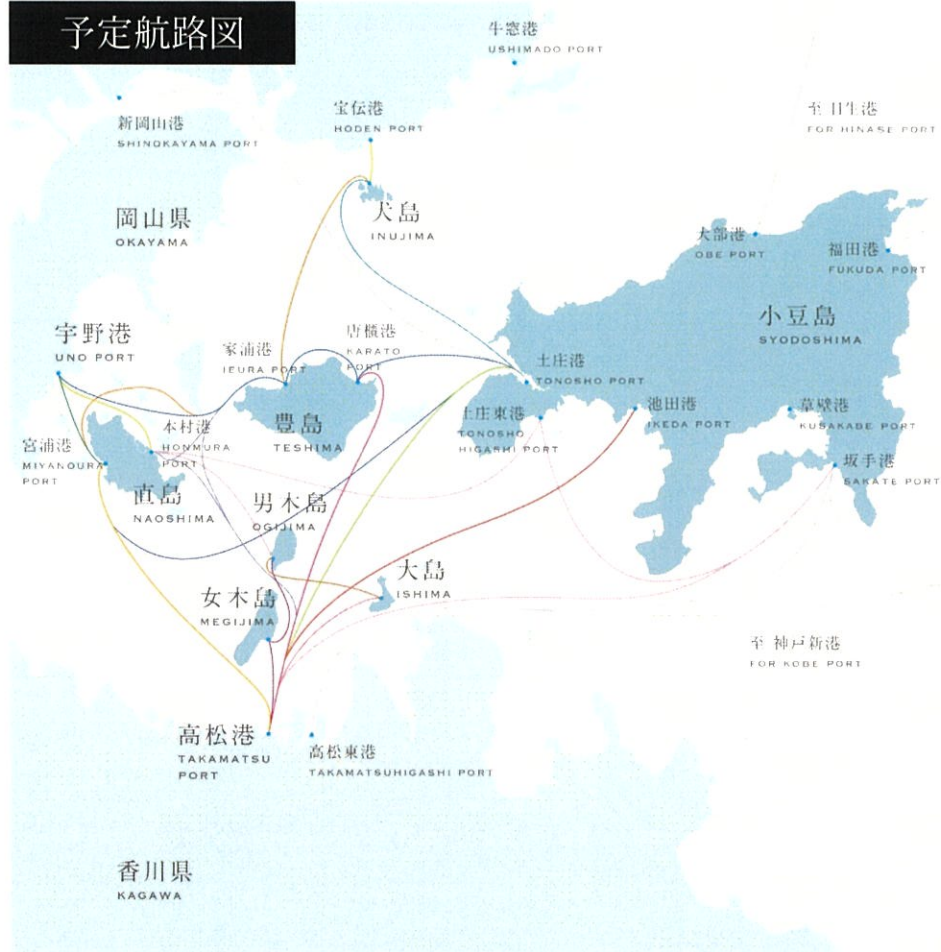
東の7島

| 出発 | 到着 | 所要時間（目安） | 出発 | 到着 | 所要時間（目安） |
|----|-----|---------------------|-----------------------|-----|---------------------|
| 高松 | 直島 | フェリー：60分 高速船：30分 | 宇野 | 直島 | フェリー：20分 旅客船：15分 |
| | | 豊島 | | | 旅客船：35分 |
| | 女木島 | フェリー：20分 | | 小豆島 | フェリー：90分 旅客船：40分 |
| | 男木島 | フェリー：40分 | | | |
| | 小豆島 | フェリー：60分 高速船：35分 | 宝伝 | 犬島 | 旅客船：10分 |
| | 大島 | 旅客船：30分 | ※宝伝港へは岡山駅からの直行バスで約50分 | | |

西の4島

| 出発 | 到着 | 所要時間（目安） | 出発 | 到着 | 所要時間（目安） |
|-----|-----|---------------------|----|----|----------|
| 丸亀 | 本島 | フェリー：35分 旅客船：20分 | 須田 | 粟島 | 旅客船：15分 |
| | | 旅客船：30分 | | | |
| 多度津 | 高見島 | フェリー：25分 | | | |

予定航路図



予定航路図



来場者への情報提供

来場者のニーズに応じた情報を、来場者が事前に計画を立てる段階や、実際に現地を訪れてからなど、時期に応じた適切な情報を様々な媒体で届けます。また、それらを多言語化し、海外からの来場者にもタイムリーな情報を届けます。

公式ウェブサイト (<https://setouchi-artfest.jp>)

公式ウェブサイトに、芸術祭に関する情報を集約し、5カ国語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語）で、総合的に発信します。また、公式ガイドブックや公式モバイルアプリなどと連携し、来場者が芸術祭を鑑賞するために必要な情報を発信します。

11月9日（火）から、瀬戸内国際芸術祭 2022 の開幕に向けて、順次、デザインや掲載内容を整備し、公開してまいります。

参考画像
(PC版)

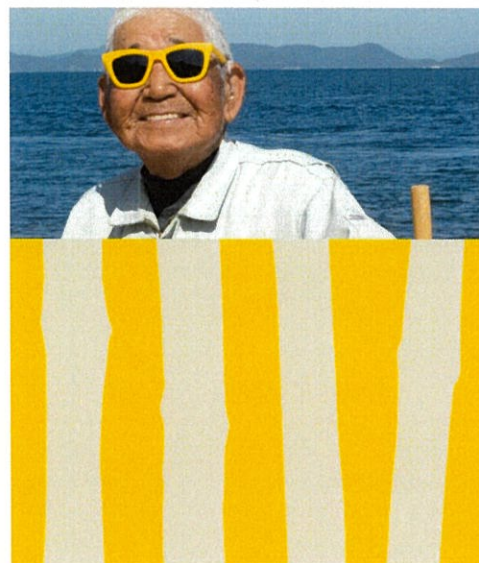
S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 2 2



参考画像

(スマートフォン・タブレット版)

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 2 2



公式ガイドブック

来場者が「これ一冊で芸術祭を巡れる」ように、作品情報を網羅し、芸術祭のみどころを紹介するだけでなく、交通や食に関する情報も盛り込んだガイドブックを発行します。

- ・発行日 | 2022年3月下旬(予定)
- ・販売価格 | 未定



公式モバイルアプリ

来場者に、よりスムーズに瀬戸内の旅を楽しんでいただくため、船の乗換案内や作品までの経路検索機能を搭載した、多言語対応の無料アプリを配信します。

- ・配信開始日 | 2022年3月(予定)
- ・対応OS | iOS、Android

案内所の設置

芸術祭のマザーポートとなる高松港をはじめ、宇野港、会場の島々や本土側の港等に案内所を設置し、作品やイベントの案内、交通機関や作品施設での混雑情報など芸術祭に関する情報提供を行います。

オフィシャルツアー等

瀬戸内国際芸術祭では、アーティストがそれぞれの島の文化、歴史、風景を生かした、その場でしか表現できない作品を展開し、来場者には作品鑑賞のみならずそこでしかできない体験や島民との交流を深めてもらうことを目指しています。お客様のニーズに合わせて、芸術祭をより楽しんでいただけるよう、各種ツアーをご用意しております。

オフィシャルツアー

「オフィシャルツアー」は、芸術祭の開催趣旨やこれまでの取組みの成果について理解し、より深く芸術祭の魅力や瀬戸内の食を楽しんでいただく、予約制のガイド付きツアーです。

ベーシックツアー

新規作品の鑑賞を中心に、各会場をガイド付きで巡ります。毎日2～3コースを催行します。

【コース予定】

高松発着：豊島・犬島、大島・女木島・男木島、小豆島、沙弥島、本島・高見島、粟島・伊吹島
岡山発着：豊島・犬島、女木島・男木島、ほか

スペシャルツアー

環境、食、教育など、特定のテーマに沿って催行する特別なツアーです。



カスタマイズツアー

お客様のご要望に応じた旅の企画や提案、施設等の手配を行う「カスタマイズツアー」を実施します。

カスタマイズツアー専用のガイドチームによるアテンド・ガイド、チャーター船等による移動、瀬戸内国際芸術祭・食プロジェクトのレストラン等での食事、瀬戸内国際芸術祭公式イベントのチケット手配等、島のコンシェルジュとしてオリジナルのカスタマイズツアーを提供します。

スタディツアー

学校の課外学習や企業の研修を目的とした「スタディツアー」では、アート作品を楽しみながら瀬戸内の島々を巡ることで、その背景にある生活や歴史を学習します。さらに芸術祭の取組みを通して見えてくる島の課題やアートによる地域づくりの実践などを学ぶプログラムをオーダーメイドで提供します。

芸術祭サポーター

アーティストと地域をつなぎ、作品と来場者を結ぶ役割を担う重要な存在となるのが、地元をはじめ国内外から集まるサポーターです。作品制作や会期中の作品・イベントの運営、会期外における島の地域行事への参加など、広く芸術祭を支えます。

こえび隊、企業・団体ボランティアサポーター

前回、日本全国、世界各地から延べ7,000人を超える方々が参加した「こえび隊」が引き続き活躍します。こえび隊の活動は芸術祭や地域を支えるだけでなく、芸術祭が目指す地域再生の取組みを広く内外に伝えていきます。

また、地域住民や地元企業・団体、学校を中心とした地域を最も知る人たちがボランティアとして加わって、「人」（地域住民、来場者、アーティストなど）と地域をつなぐコミュニケーションのプラットフォームとなり、芸術祭を支えます。



作品受付の様子(男木島)



こえび隊の朝礼の様子(高松港)



国外から参加のみなさん(大島)



作品受付の様子(伊吹島)

連携・交流

県内外のさまざまな主体が芸術祭に呼応して行う取組みが、全国、世界に広がりつつあります。また、芸術祭の開催を契機に、地元の方々を中心とした地域活性化につながる取組みが各島で行なわれるようになりました。こうした活動が一過性のものとはならないよう、幅広い世代にわたり継続していく機運を高める取組みを行っていきます。

広域連携事業

瀬戸内国際芸術祭 2022 と同じ年に、全国でさまざまなアートフェスティバルなどが開催されます。瀬戸内国際芸術祭は、これらと広報等で連携し、日本全国でアートが地域の活力を取り戻すことに貢献します。

＜現段階で連携を予定している事業＞

- ・大地の芸術祭（新潟県越後妻有地域）
- ・第 29 回 UBE ビエンナーレ（現代日本彫刻展）（山口県宇部市）
- ・国際芸術祭「あいち 2022」（愛知県）
- ・岡山芸術交流 2022（岡山県岡山市）
- ・Reborn-Art Festival 2021-22（宮城県石巻地域）
- ・せとうち美術館ネットワーク（主催：本州四国連絡高速道路株式会社）

県内連携事業

香川県内の市町や団体が実施する文化芸術イベントや観光スポットで相乗効果が期待できる事業と連携し、芸術祭の来場者にそれらのスポットを巡っていただくことで、芸術祭の開催効果を広く波及させます。

学校連携事業

香川県教育委員会や地元の高等学校等と連携し、未来の瀬戸内を担う子どもたちを育成するため、会場となっている島々の独自性や国外からの来場者が多い芸術祭ならではの特性などを生かしてさまざまな課外活動等を展開していきます。

島間交流事業

芸術祭の会場となっている島の住民が他の島を訪れ、他の島の取組みの好事例を参考にしてもらうとともに、島おこしの取組みなどについて情報交換を行うことで、島と島との間における人的ネットワークの形成を支援します。また、そこで生まれたネットワークをもとに、住民が主体となった地域活動の活性化を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策

芸術祭の開催に当たっては、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」及び「新型コロナウイルス感染症に対する香川県対処方針」を基本的な指針として、「新しい生活様式」や業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドライン等に基づく適切な感染防止対策を実施します。

また、香川県新型コロナウイルス対策本部決定の「催物（イベント等）」の開催にあたっての留意事項について」を踏まえ、「3密（密集・密閉・密接）を徹底的に避ける」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指消毒の徹底」を始めとする、感染防止対策を徹底します。

特に、会場の多くが離島であることを十分踏まえ、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、地元市町等とも連携して、案内所や作品受付、イベント会場等で必要な対策を講じていきます。

※ 上記の方針等が更新された場合は、適宜対策の見直しを行います。

〈対策の項目とその内容について〉

※ 島ごとの具体的な対応については、別途取りまとめて公表します。

1 マスクの常時着用の奨励

- ・ 来場者に対して、マスク着用を基本とする咳エチケットの協力を依頼する。また、マスクを持参していない人には、案内所等でマスクを無料で提供する。

2 大声を出さないことの奨励

- ・ 来場者に対して、会場等で大声を出さないよう協力を依頼する。

3 手洗・手指消毒

- ・ 来場者に対して、こまめな手洗いを奨励する。
- ・ アルコール等の手指消毒液を各施設に設置する。

4 消毒の徹底

- ・ 施設内（出入口やトイレのほか、ウイルスが付着する可能性がある場所等）をこまめに消毒する。

5 換気・保湿

- ・ 各施設において、空調設備の設置やこまめな換気を行う。
- ・ 乾燥が見込まれる施設においては、湿度の管理を行う。

6 密集の回避

- ・ 時間差入場等により、入退場の密集を回避する。
- ・ 人員の配置、導線の確保等の体制を構築し、休憩時間の待合場所での密集も回避する。
- ・ 各施設において、密集が回避できない場合はキャパシティに応じ収容人数を制限する。
- ・ 主要航路の乗船人数を確認して、芸術祭の公式ウェブサイト等で混雑状況の発信を行う。

7 身体的距離の確保

- ・ 大声を伴う可能性のあるイベントを実施する場合、隣席との身体的距離を確保する。
- ・ 演者等が発声する場合には、舞台から観客の間を2m確保する。
- ・ 各施設において、足形マークの設置や誘導員の配置等により、混雑時でも密にならない程度の間隔（最低限人と人が触れ合わない程度の間隔）を確保する。
- ・ イベントを実施する場合、区画あたりの人数制限やビニールシート等を用いた適切な対人距離の確保等を行う。

8 飲食の制限

- ・ 各施設において、飲食用に感染防止対策を行ったエリア以外での飲食を制限する。
- ・ イベントを実施する場合、休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止を徹底する。
- ・ 酒類を提供する場合、過度な飲酒の自粛呼びかけを行う。

9 来場者の検温等の実施

- ・ 島ごとの実情に応じて、港周辺や作品受付等で来場者の検温や体調確認、連絡先の把握を効果的かつ効率的に実施できるよう、瀬戸内国際芸術祭2022 デジタルパスポートアプリの活用も含めて、検討を行う。
- ・ 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）には入場等をお断りする。
- ・ 来場者に対して、体調不良時には来場を控えることや、有症状者は入場等できないことなどを、芸術祭の公式ウェブサイト等で十分に周知する。

10 イベント出演者等の行動管理

- ・ 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控える。
- ・ 演者等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないように確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがある催物については開催を見合わせる。
- ・ 練習時等、催物開催前も含め、声を発する演者間での感染リスクに対処する。

11 催物前後の行動管理

- ・ 芸術祭の公式ウェブサイト等で、イベント前後の感染防止の注意喚起を行う。
- ・ 芸術祭の公式ウェブサイト等で、交通機関・飲食店の分散利用の注意喚起を行う。

12 ガイドライン遵守の旨の公表

- ・ 芸術祭の公式ウェブサイト等で、業種別ガイドラインに従った取組みを行う旨を公表する。

13 島での有症状者の発生時の対応等

- ・ 発生時に備えて、地元市町や診療所等の関係者間の連絡体制の徹底を図る。
- ・ 島での救護スペースの確保や島外搬送が必要な場合の移動手手段等について、効果的かつ効率的な対策が講じられるよう検討を行う。

協賛企業等

助 成

文化庁

パートナー

鹿島建設株式会社 | カトーレック株式会社 | 株式会社 J T B |
ショーワグローブ株式会社 | 日本郵便株式会社 | 株式会社ベネッセホールディングス |
ホッピービバレッジ株式会社 | 三井不動産株式会社 | 三菱地所株式会社 |
株式会社レクザム |

協 賛

株式会社 I H I | 株式会社チャリ・ロト | 四国旅客鉄道株式会社 | 大倉工業株式会社 |
オリビアン小豆島夕陽ヶ丘ホテル | 四国化成工業株式会社 | 高松空港株式会社 | イオンリテール株式会社 |
ミズノ株式会社 | K D D I 株式会社 | 大日本印刷株式会社 | マックスバリュ西日本株式会社 |
株式会社七宝 | 株式会社タダノ | 株式会社百十四銀行 | アオイ電子株式会社 | 有限会社アキヤマ自販 |
アセッターズ株式会社 | 株式会社 N T T ドコモ | 株式会社大本組 |
オリエンタルモーター株式会社高松事業所 | 株式会社 O n g a k u s h i t s u | 株式会社香川銀行 |
香川県建設業協会高松支部 | 香川県信用金庫協会 | 香川県信用組合 | 香川証券株式会社 |
かどや製油株式会社 | 木下製粉株式会社 | 株式会社サムソン | 株式会社三光エンジニアリング |
ジョイテック株式会社 | 公益財団法人南海育英会 | 株式会社日本総険 | 株式会社ハローズ |
一般財団法人阪大微生物病研究会 | 本州四国連絡高速道路株式会社 | 公益財団法人松平公益会 |
森ビル株式会社 | 両備グループ | 株式会社東芝四国支社 | A I G L E | 株式会社東京美術 |
全日本空輸株式会社高松支店 | 穴吹エンタープライズ株式会社 | 株式会社アムロン | 株式会社石垣 |
有限会社井上誠耕園 | N T T 西日本 香川支店 | 大紀商事株式会社 | 株式会社大林組 |
株式会社オールブルー | 岡山ガス株式会社 | 一般社団法人香川県建設業協会 | 香川県農業協同組合 |
香川県農業協同組合中央会・各連合会 | 香川県ホテル旅館生活衛生同業組合 | 株式会社カナック |
鎌田醤油株式会社 | 株式会社クボタ | クボタ環境サービス株式会社 | 株式会社クリエアナブキ |
株式会社グロップ | 株式会社建設マネジメント四国 | 株式会社合田工務店 | さぬき丸一製麺株式会社 |
四国牛乳輸送株式会社 | 四国通商株式会社 | 四国電力株式会社 | 四国電力送配電株式会社 | 株式会社菅組 |
高松帝酸株式会社 | 株式会社タクテック | 株式会社中国銀行 | 東洋アルミニウム株式会社 |
株式会社トーカイ | 中庭住宅株式会社 | 株式会社西崎組 | 日宝綜合製本株式会社 | 株式会社ビッグ・エス |
株式会社福本ボデー | 株式会社マキタ | 松谷化学工業株式会社 | 株式会社マルヨシセンター |
三井物産株式会社四国支店 | サカケン株式会社 | 香川県建設業協会中讃支部 | 富士建設株式会社 |
アイプリックス株式会社 | 香川県漁業協同組合連合会 | 勇心酒造株式会社 | 株式会社おもちゃ王国 |
一般社団法人香川県トラック協会 | 協和化学工業株式会社 | 株式会社 Coa マネジメント |
コーホク印刷株式会社 | コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 | 後藤設備工業株式会社 |
株式会社サニーエイト | 小豆島調理食品工業協同組合 | 損害保険ジャパン株式会社 |
第一生命保険株式会社東四国支社 | 株式会社トロンマネジメント | ピープルソフトウェア株式会社 |
株式会社ムレコミュニケーションズ | 株式会社日栄建設 | 谷口建設興業株式会社 | 株式会社ヒカリ |
四国計測工業株式会社 | 四電ビジネス株式会社 | e B A S E 株式会社 | 株式会社小竹組 |

(協賛続き)

高松商運株式会社 | 第二建築株式会社 | 株式会社藤田工務店 | 株式会社高岸工務店 | 葵機工株式会社 |
有限会社エイトヒルズ・コーポレーション | 香川県建設業協会小豆支部 | 香川県建設業協会西讃支部 |
香川県建設業協会長尾支部 | 香川県舗装協会 | カンコーマナボネクト株式会社 | 北浜 a l l e y 株式会社 |
株式会社香西鉄工所 | 四国塗装株式会社 | 株式会社七星食品 | 株式会社総合開発 | 大和板紙株式会社 |
宝田電産株式会社 | 有限会社手ぬぐい工房ポスター堂 | 西日本ビル管理株式会社 | ばいこう堂株式会社 |
丸八商工株式会社 | 三豊運送株式会社 | 有限会社エイファーマ | 森永乳業株式会社 | 石丸製麺株式会社 |
株式会社 A D F ・アヤベ | 岡山トヨタ自動車株式会社 | 株式会社オリコ | 有限会社川北縫製 |
株式会社きんでん四国支社 | 堺屋醤油株式会社 | 株式会社ジェイアール四国企画 |
株式会社 J R 四国ホテルズ | 株式会社四国総合研究所 | 四国鉄道機械株式会社 | 四国塗装工業株式会社 |
セキ株式会社 | 株式会社デンシヨク | 東洋オリーブ株式会社 | 東洋工業株式会社 | 徳寿工業株式会社 |
株式会社長峰製作所 | ビジネスホテルプリンス | 平井法律事務所 | 株式会社富士クリーン |
株式会社 F U J I D A N | 株式会社伏見製薬所 | 丸善工業株式会社 | 株式会社宮地サルベージ |
株式会社明電舎四国支店 | 株式会社名物かまど | 株式会社ユーミック | 株式会社夢菓房たから |
税理士法人六条 | 長尾工業所 |

(2021 年 10 月 24 日現在)

メインビジュアル



瀬戸内国際芸術祭2022 Setouchi Triennale 2022
春会期:4月14日 木 5月18日 水 夏会期:8月5日 金 9月4日 日 秋会期:9月29日 木 11月6日 日
Spring: Apr 14th Thu May 18th Wed Summer: Aug 5th Fri Sep 4th Sun Autumn: Sep 29th Tue Nov 6th Sun

瀬戸内国際芸術祭2022 Setouchi Triennale 2022
春会期:4月14日 木 5月18日 水 夏会期:8月5日 金 9月4日 日 秋会期:9月29日 木 11月6日 日
Spring: Apr 14th Thu May 18th Wed Summer: Aug 5th Fri Sep 4th Sun Autumn: Sep 29th Tue Nov 6th Sun

瀬戸内国際芸術祭2022 Setouchi Triennale 2022
春会期:4月14日 木 5月18日 水 夏会期:8月5日 金 9月4日 日 秋会期:9月29日 木 11月6日 日
Spring: Apr 14th Thu May 18th Wed Summer: Aug 5th Fri Sep 4th Sun Autumn: Sep 29th Tue Nov 6th Sun

(撮影: 上田義彦)

瀬戸内国際芸術祭 2022 メインビジュアルのデザインについて

グラフィックデザイナー 原 研哉

島のお年寄りたちに二つの魔法をかけます。

ひとつは「サングラス」。

思いっきりド派手で、ロックンロールで、グラマラスで、ビカビカに光っている、パワフルで非日常的な黒いサングラスを、じいちゃん、ばあちゃんにかけてもらいました。

サングラスはアートのメタファ。

照れてもいい、ピースをしてもいい。ともかく明るければいい。

ふたつ目の魔法は写真。上田義彦さんの「ポートレートの魔術」。

これは、そこにある素晴らしいものを「生け捕りにする」技術です。

直島のプロジェクトを始めた福武さんの「直島は老人がいい」という言葉が記憶に残っています。確かに、瀬戸内国際芸術祭で島々を訪れた際に、じいちゃん、ばあちゃんたちの存在感は眩しかった。この素晴らしさを、海を背景に、生け捕りにします。

老人大国日本から世界へ、とびきり明るいメッセージ。

2022のポスターは人をアートにするコミュニケーションでいきます。

原 研哉

デザイナー。1958年生まれ。無印良品、蔦屋書店、GINZA SIX等のアートディレクションで知られる。日本を未来資源としてとらえ直す視点から、様々なプロジェクトの立案を行ってきた。2019年にはウェブサイト「低空飛行」を開始、「高解像度の旅」をテーマに観光分野への新たなアプローチを試みている。日本デザインセンター代表。武蔵野美術大学教授。

上田 義彦

写真家。多摩美術大学グラフィックデザイン学科教授。

日本写真協会作家賞、東京ADC賞、ニューヨークADC賞など、国内外の様々な賞を受賞。2011年にGallery 916を主宰。代表作に、ネイティブアメリカンの聖なる森を捉えた『QUINAULT』、前衛舞踏家・天児牛大のポートレート集『AMAGATSU』、自身の家族にカメラを向けた『at Home』、生命の源をテーマにした『Materia』シリーズ、30有余年の活動を集大成した『A Life with Camera』など。